



SCB

ニュース&トピックス

No.2024-132

(2025. 1. 20)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

上席主任研究員 刀禰 和之

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-20）

- 預金セールスの目標設定 -

ポイント

- 地域の人口減少・少子高齢化に加え、「金利のある世界」の到来もあり、信用金庫の間で預金セールスのあり方を見直す動きが加速している。
- 主な推進策としては、金利上乘せキャンペーンの実施や公金預金・法人預金の強化を挙げる研修受講金庫が多かった。
- 2025 年度の営業店目標設定に関連して預金目標の有無がテーマとなっており、各金庫の対応も分かれている。
- 研修受講金庫からは『今後は、これまで消費者ローンの推進を主目的に取り組んでいた職域セールスを通じて預金を集めるのも一手となろう』などのコメントがあった。

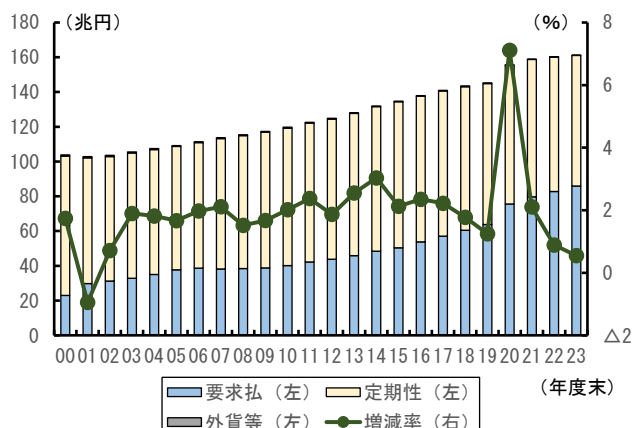
（注１）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024 年度）」の意見交換および個別信用金庫へのヒアリング等で得た情報をもとに作成している。

（注２）本稿は、ニュース&トピックス（2023-88）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定（22）- 預金セールスの推進動向 -」のアップデート版となる。

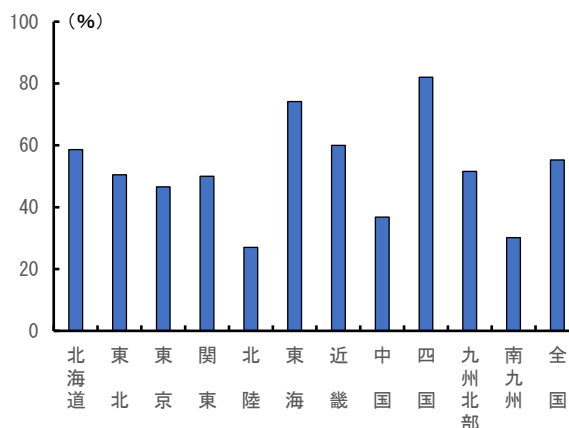
1. 預金残高の推移

2023 年度末の信用金庫の預金残高（161 兆 1,644 億円）は、過去最高を更新すると同時に 22 年連続で前年度末を上回ったものの、地域の人口減少・少子高齢化や「金利のある世界」の到来の影響などを受け、足元では伸び率の鈍化が顕著である（図表 1、2）。こうしたなか今後の本格的な預金残高の減少時代を見据えた預金セールスのあり方を検討する研修受講金庫が増えている。

（図表 1）預金残高の推移



（図表 2）地区別の増減率（00 年度末→23 年度末）



（備考）1. 沖縄県は全国に含む。

2. 図表 1 から 3 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 主な預金推進策

主な預金推進策としては、金利上乘せのボーナスキャンペーン実施や公金預金の強化、または法人預金の推進を挙げる研修受講金庫が多い。その一方で、調達コストの上昇（預貸金利鞘の縮小）懸念などから預金残高の無理な伸長への疑問の声も増えつつあり、意見交換のなかでは微増を目指す動きが大勢を占めた。

3. 2025 年度の預金セールス目標設定

預金セールスに関するテーマの一つに 2025 年度の目標設定の有無が挙げられる。研修受講金庫の多くが『営業店への負担を抑えつつ、良質な個人預金の推進に取り組みたい』との希望を有していた。個別には職域セールスの活用や、預かり資産の推進見直しなどと絡めた預金目標の設定を検討する事例があった。

4. 研修受講金庫のコメント

当研究所が主催する「経営戦略プランニング研修」などの意見交換時に聴取した研修受講金庫の主なコメントは図表 3 のとおりである¹。

（図表 3）研修受講金庫のコメント（2025 年度の目標設定の考え方など）

- 当金庫は営業店の負荷軽減を目的に 2024 年度から営業店の業績目標をシンプルに見直したばかりなので、現状、預金セールスの指示を新たに出すのは難しい。
- 現状、預金はキャンペーンでかき集めている。これまで預かり資産を推進し、定期預金の満期は預かりを案内してきたので、営業現場では預金セールスに対する戸惑いがあるようだ。
- 当金庫はこれまで個人マス顧客との関係（定積集金や満期管理など）を効率化してきた。このような状況下での預金セールスの目標復活には営業店の反発が予想される。
- 預金の目標設定はあるが、それほど厳しい水準ではなく、キャンペーンの時に集中して取り組みれば何とか着地する水準としている。
- 当金庫は、これまでの職域セールスでは消費者ローンの推進に注力していたが、今後は預金に振り向ける方針である。
- 現在の目標設定（収益分野）は貸出金利息と役務手数料のみなので、預金セールスの強化に合わせて預金を集めても営業店収益になるような仕組みに見直す予定である。
- 現状は預金セールスの目標を未設定だが、2025 年度からは渉外担当に預金目標を設定する方針である。逆に預かり資産の目標を渉外担当から外すことで負担を軽減する考え。

（備考）過去レポートの再掲あり

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断でお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

¹ 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしておりません）。